

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
国語	現代の国語	2	1年次 普通科 プログレッシブ	必修	高等学校 現代の国語・ 第一学習社	常用漢字ダブルクリア五 訂版・尚文出版

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・読書や言語活動を通して、実社会生活で必要となる知識や技能を身につける。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の考えを他者に的確に伝えることができるようになる。 ・言葉が持つ価値への認識を高め、言語文化の担い手として社会に関わる姿勢を修得する。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
	「思考・判断・表現」 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感する力、豊かに想像したりする力がある。また、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	「主体的に学習に取り組む態度」 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。さらに、読書に親しむことで自己を向上させ、言語文化の担い手としての自覚を持つようとしている。
評価の方法	「知識・技能」 定期考査における基本問題や小テストで評価する。
	「思考・判断・表現」 定期考査における発展問題や授業内発表・成果物で評価する。
	「主体的に学習に取り組む態度」 提出物の内容や授業態度で評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>『『生きもの』として生きる』 ・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握すると共に、内容や構成、論理の展開を的確に捉える。</p> <p>『『本当の自分』幻想』 ・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考える。</p> <p>『夢十夜(第一夜)』 ・「夢」という非日常性を持つ世界設定において、日々「自分」は何を根拠に物事を判断しているのかを読み解く。</p> <hr/> <p>『水の東西』 ・日本の水文化に見られる特徴を用いながら、自国と他国との差異を受け止め、東西の文化について自分の考えを深める。</p> <p>『ものとことば』 ・具体(例示)と抽象(意見)の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。</p> <p>『羅生門』 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。</p>
2 学期	<p>『『間』の感覚』 ・日本文化および日本人の行動様式についての文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。</p> <p>『現代の『世論操作』』 ・情報操作の具体例を通じて筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。</p> <p>『鏡』 ・恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解く。</p> <hr/> <p>『フェアな競争』 ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を理解する。</p> <p>『城の崎にて』 ・三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。</p>
3 学期	<p>『不均等な時間』 ・具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。</p> <p>『ロビンソン的人間と自然』 ・「ロビンソン・クルーソー」を例として取り上げた筆者の意図を踏まえ、自然に対する人間の態度について意見を持つ。</p>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
国語	現代の国語	2	1年次 普通科 スタンダード	必履修	高等学校 現代の国語・ 第一学習社	常用漢字ダブルクリア五 訂版・尚文出版

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・読書や言語活動を通して、実社会生活で必要となる知識や技能を身につける。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の考えを他者に的確に伝えることができるようになる。 ・言葉が持つ価値への認識を高め、言語文化の担い手として社会に関わる姿勢を修得する。
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」</p> <p>実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。</p>
	<p>「思考・判断・表現」</p> <p>「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感する力、豊かに想像したりする力がある。また、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。さらに、読書に親しむことで自己を向上させ、言語文化の担い手としての自覚を持つようとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」</p> <p>定期考査における基本問題や小テストで評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」</p> <p>定期考査における発展問題や授業内発表・成果物で評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>提出物の内容や授業態度で評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>『『生きもの』として生きる』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握すると共に、内容や構成、論理の展開を的確に捉える。 <p>『『本当の自分』幻想』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考える。 <p>『夢十夜(第一夜)』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『夢』という非日常性を持つ世界設定において、日々『自分』は何を根拠に物事を判断しているのかを読み解く。 <p>『水の東西』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の水文化に見られる特徴を用いながら、自国と他国との差異を受け止め、東西の文化について自分の考えを深める。 <p>『ものことば』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体(例示)と抽象(意見)の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 <p>『羅生門』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。
2 学期	<p>『『間』の感覚』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本文化および日本人の行動様式についての文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 <p>『現代の『世論操作』』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報操作の具体例を通じて筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。 <p>『鏡』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解く。 <p>『フェアな競争』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を理解する。 <p>『城の崎にて』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。
3 学期	<p>『不均等な時間』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。 <p>『ロビンソンの人間と自然』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『ロビンソン・クルーソー』を例として取り上げた筆者の意図を踏まえ、自然に対する人間の態度について意見を持つ。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
国語	言語文化	2	1年次 普通科 プログレッシブ	必修	高等学校 言語文化 第一学習社	○学ぶぞ 古文と漢文 新装版・尚文出版 ○学ぶぞ古文と漢文基本 練習ノート 尚文出版 ○ 古文単語覚える321 尚文出版

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。 ・論理的思考力や想像力を養うとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句に触れ、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 <p>「思考・判断・表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類をふまえ、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章に表れている物の見方や感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に積極的に親しみ、文章や詩歌の面白さを互いに伝え合おうとしている。 ・作品に表れている情景や心情を、これまでの学習を活かして粘り強く読み取ろうとしている。
評価の方法	<p>「知識・技能」</p> <p>定期考査における基本問題や小テストで評価する。</p> <p>「思考・判断・表現」</p> <p>定期考査における発展問題や授業内発表の内容や成果物で評価する。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>提出物の内容や授業態度で評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>日本文学編「古文の学習」、「児のそら寝」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話の面白さや人間描写の巧みさを知る。 <p>漢文学編「訓読に親しむ(一)～(三)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・返り点や再読文字の種類や使い方等の漢文を訓読するための基礎知識を身につける。 <p>日本文学編「なよ竹のかぐや姫(竹取物語)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典特有の世界観に慣れるとともに、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、解釈する。 <p>漢文学編「故事成語」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来していることを知る。
2 学期	<p>日本文学編「伊勢物語」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 <p>漢文学編「史伝」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史伝という文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える。 <p>日本文学編「整のうへ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品に込められた作者の心情を捉える。 <p>漢文学編「漢詩」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現や技法(押韻や対句)に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読む。
3 学期	<p>日本文学編「徒然草」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思索的な随筆を読み、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 <p>漢文学編「論語」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解する。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
国語	言語文化	2	1年次 普通科 スタンダード	必修	高等学校 言語文化 第一学習社	○学ぶぞ 古文と漢文 新装版・尚文出版 ○学ぶぞ古文と漢文基本 練習ノート 尚文出版 ○ 古文単語覚える321 尚文出版

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。 ・論理的思考力や想像力を養うとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句に触れ、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 <p>「思考・判断・表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類をふまえ、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章に表れている物の見方や感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に積極的に親しみ、文章や詩歌の面白さを互いに伝え合おうとしている。 ・作品に表れている情景や心情を、これまでの学習を活かして粘り強く読み取ろうとしている。
評価の方法	<p>「知識・技能」</p> <p>定期考査における基本問題や小テストで評価する。</p> <p>「思考・判断・表現」</p> <p>定期考査における発展問題や授業内発表の内容や成果物で評価する。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>提出物の内容や授業態度で評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>日本文学編「古文の学習」、「児のそら寝」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話の面白さや人間描写の巧みさを知る。 <p>漢文学編「訓読に親しむ(一)～(三)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・返り点や再読文字の種類や使い方等の漢文を訓読するための基礎知識を身につける。 <p>日本文学編「なよ竹のかぐや姫(竹取物語)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典特有の世界観に慣れるとともに、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、解釈する。 <p>漢文学編「故事成語」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来していることを知る。
2 学期	<p>日本文学編「伊勢物語」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 <p>漢文学編「史伝」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史伝という文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える。 <p>日本文学編「整のうへ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品に込められた作者の心情を捉える。 <p>漢文学編「漢詩」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現や技法(押韻や対句)に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読む。
3 学期	<p>日本文学編「徒然草」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思索的な随筆を読み、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 <p>漢文学編「論語」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解する。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
国語	言語文化	2	1年次 情報ビジネス科 システム工学科	必修	新編言語文化 東京書籍	常用漢字ダブルクリア五 訂版・尚文出版

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。 ・論理的思考力や想像力を養うとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句に触れ、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 <p>「思考・判断・表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類をふまえ、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章に表れている物の見方や感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に積極的に親しみ、文章や詩歌の面白さを互いに伝え合おうとしている。 ・作品に表れている情景や心情を、これまでの学習を活かして粘り強く読み取ろうとしている。
評価の方法	<p>「知識・技能」</p> <p>定期考査における基本問題や小テストで評価する。</p> <p>「思考・判断・表現」</p> <p>定期考査における発展問題や授業内での発表や文書による制作物の内容を評価する。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>学習した内容に沿って作成した制作物への取り組み状況や授業への取り組む態度によって評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>「さくらさくらさくら」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。 「花」といえば「桜」？ ・現代の言語文化に息づいている古典の常識について興味を持つ。 「『美しい』ということ」 ・筆者の経験と分析について理解し、「美しい」ということについて考える。 <p>古文に親しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの文章の、リズムや調子の違いを感じ取る。 「児のそら寝」 ・歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。 「絵仏師良秀」 ・文語の活用について理解し、叙述を基に人物像を読み取る。
2 学期	<p>訓読の基本、漢字の読みと意味—漢和辞典を活用しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。 ・漢和辞典の使い方を知り、漢字の読みと意味の関係について理解する。 <p>漢字の読みと意味—漢和辞典を活用しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。 <p>「羅生門」、元になった古典作品と読み比べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。 ・古典を元にして作られた作品と、元の作品を読み比べ、理解を深める。 「枕草子」 ・作品の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
3 学期	<p>歌詞の意味や表現技法について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃耳にする歌謡曲の歌詞にも見られる表現技法について知り、散文への理解を深める。 <p>折々のうた、和歌を自分の言葉で書き換える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る。 ・和歌を書き換えることを通して、解釈を深める。 <p>短歌を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って短歌にし、効果的に書く。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名 (予定)	副教材・出版社名 (予定)
国語	論理国語	2	2年次 普通科	必修	精選論理国語・三省堂	常用漢字ダブルクリア五 訂版・尚文出版

学習目標	示された情報の信頼性や妥当性を見極めながら、他者の首長や考えを的確に理解するとともに、自らの主張や考えを論拠に基づいて効果的に構築できる。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
	「思考・判断・表現」 論理的、批判的に考える力を身に付け、他者との関わりの中で、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができている。
	「主体的に学習に取り組む態度」 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して社会や他者と関わろうとする意識をもつことができている。
評価の方法	「知識・技能」 定期考査における基本問題や、定期的実施する小テストの結果で評価を行う。
	「思考・判断・表現」 定期考査における応用問題や、授業内外でのレポート課題の成果、発表活動の成果によって評価を行う。
	「主体的に学習に取り組む態度」 個人ワークやグループワークへの取り組み具合や、提出物の提出状況によって評価を行う。

学期	学習計画および内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・「論理力と思考力」 論理力と思考力を対比的に捉え、それぞれの特徴について考える。 ・「ネット上の発言の劣化について」 情報の階層化が進む状況を理解し、「言論の自由」の意味について考える。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・「情報の『メタ』化」 情報の「メタ」化を理解し、思考を整理する方法を考える。 ・「人類による環境への影響」 人類史の観点から環境問題について考える。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・「マルジャーナの知恵」 「情報の商品化」という資本主義の現象を理解する。 ・「記号を使う動物」 記号としての言語について考える。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・「言葉がつくる女と男」 言語とアイデンティティの関係について考える。 ・「動的平衡」 生命とは「動的平衡」と呼ばれるシステムであるという考え方を理解する。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・「ミロのヴィーナス」 ミロのヴィーナスの「魅力」について考える。 ・「AI時代の『人間』」 AIとの対比から「人間」についての理解を深める。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名 (予定)	副教材・出版社名 (予定)
国語	古典探究	2	2年次 普通科 プログレッシブ コース	必修	精選 古典探究 大修館	○字ぶて 古文と漢文 新装版・尚文出版 ○学ぶぞ古文と漢文基本 練習ノート 尚文出版 ○ 古文単語覚える321 尚文出版

学習目標	<p>・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
評価の 観点・規準	<p>「知識・技能」</p> <p>古典に用いられている語句の意味や用法を理解したり、語彙を豊かにしたりすることで、古典作品への理解を深める。</p> <p>修辞や訓読のきまりについて、理解を深める。</p> <p>「思考・判断・表現」</p> <p>文章の種類を踏まえて、構成や展開、古典特有の表現を理解する。</p> <p>書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、成立の背景を踏まえながら作品の価値について考察する。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深める。</p> <p>古典作品に親しむことでものの見方、感じ方、考え方を深め、言語文化の担い手としての自覚を持つ。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」</p> <p>小テスト・課題確認テストで評価する。</p> <p>「思考・判断・表現」</p> <p>定期考査で評価する。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>提出物の内容や授業内での成果物、授業態度で評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>『宇治拾遺物語』『検非違使忠明のこと』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代仮名遣いおよび品詞の働き、用言の活用を確認する。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。 <p>『徒然草』『花は盛りに』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助動詞の識別を中心に、音便や語幹用法、係り結びの法則を確認する。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。 <p>『蒙求』『両頭蛇』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・返り点および置き字の規則を理解して漢文を書き下し、再読文字や句形を身につける。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。 <p>『伊勢物語』『初冠』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助動詞および和歌の修辞法を理解する。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。
2 学期	<p>『枕草子』『中納言参りたまひて』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬語法および副詞の呼応を理解する。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。 <p>『唐詩選』『登岳陽樓』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩型や押韻など、基礎的な漢詩の知識を身につける。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。 <p>『史記』『瀕門の会(一)沛公項王に見ゆ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・句形を身につけるとともに、登場人物の主従関係を把握することで内容理解を深める。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。 <p>『平家物語』『忠度都落ち』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音便や敬語法の多用という、軍記特有の表現に親しみ、内容理解を深める。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。
3 学期	<p>『大鏡』『競べ司』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙や文法を把握し、現代語訳する力を身につける。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。 <p>『捜神記』『定伯売鬼』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の知識を把握し、現代語訳する力を身につける。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	・1年次で言語文化を履修している。
---------------------------	-------------------

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名 (予定)	副教材・出版社名 (予定)
国語	古典探究	2	2年次 普通科 スタンダード コース	必修	精選 古典探究 大修館	○字ぶそ 古文と漢文 新装版・尚文出版 ○学ぶぞ古文と漢文基本 練習ノート 尚文出版 ○ 古文単語覚える321 尚文出版

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価の 観点・規準	「知識・技能」 古典に用いられている語句の意味や用法を理解したり、語彙を豊かにしたりすることで、古典作品への理解を深める。 修辞や訓読のきまりについて、理解を深める。
	「思考・判断・表現」 文章の種類を踏まえて、構成や展開、古典特有の表現を理解する。 書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、成立の背景を踏まえながら作品の価値について考察する。
	「主体的に学習に取り組む態度」 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深める。 古典作品に親しむことでものの見方、感じ方、考え方を深め、言語文化の担い手としての自覚を持つ。
評価の方法	「知識・技能」 小テスト・課題確認テストで評価する。
	「思考・判断・表現」 定期考査で評価する。
	「主体的に学習に取り組む態度」 提出物の内容や授業内での成果物、授業態度で評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	『宇治拾遺物語』「検非違使忠明のこと」 ・現代仮名遣いおよび品詞の働き、用言の活用を確認する。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。 『蒙求』「両頭蛇」 ・返り点および置き字の規則を理解して漢文を書き下し、再読文字や句形を身につける。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。
	『枕草子』「中納言参りたまひて」 ・敬語法および副詞の呼応を理解する。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。 『唐詩選』「登岳陽樓」 ・詩型や押韻など、基礎的な漢詩の知識を身につける。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。
2 学期	『史記』「鴻門の会(一)沛公項王に見ゆ」 ・句形を身につけるとともに、登場人物の主従関係を把握することで内容理解を深める。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。
	『大鏡』「競べ弓」 ・語彙や文法を把握し、現代語訳する力を身につける。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。 『捜神記』「定伯売鬼」 ・漢文の知識を把握し、現代語訳する力を身につける。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。
3 学期	『平家物語』「忠度都落ち」 ・音便や敬語法の多用という、軍記特有の表現に親しみ、内容理解を深める。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	・1年次で言語文化を履修している。
---------------------------	-------------------

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名 (予定)	副教材・出版社名 (予定)
国語	国語探究Ⅰ	1	2年次普通科 プログレッシブ コース	文理Ⅱ	文学国語 東京書籍	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 「思考・判断・表現」 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 「主体的に学習に取り組む態度」 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもととしている。
評価の方法	「知識・技能」 定期考査における基本問題や小テスト等で評価する。 「思考・判断・表現」 定期考査における発展問題や授業内発表の内容や、成果物で評価する。 「主体的に学習に取り組む態度」 提出物の内容や授業態度等で評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	随想「光の窓」 筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。 随想「雨月物語」 筆者の考え方の変化を捉え、書籍が筆者にどのような影響を与えたかを考える。 小説「山月記」 登場人物の心情を把握し、主人公の内面と苦悩について考える。 言語活動「小説を創作する」 何をどのように書くかと言うことに注意し、表現したいことを明確にして、小説を書く。
2 学期	評論「言葉を生きる」 筆者の考えを表現に即して読み取り、「生きること」と「言葉」との関係について理解を深める。 評論「詩と感情生活」 論の展開をふまえて筆者の主張を捉え、詩の特質について考えを深める。 言語活動「書評を書く」 選んだ本の内容を解釈して、作品の紹介と内容の評価を区別し、書評を書く。 小説「山椒魚」 登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。
3 学期	小説「沖繩の手記から」 戦争の中に生きる登場人物の生き方や考えを捉え、人間の生と死について考えを深める。 詩歌 詩や短歌の表現の特質を理解し、時代の変化との関わりを考える。 言語活動「共同で詩を創作する」 言葉の組み合わせを考えながら、複数人で詩を創作する。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名 (予定)	副教材・出版社名 (予定)
国語	現代の国語	2	2年次 情報ビジネス科 システム工学科	必履修	新編 現代の国語 東京書籍	常用漢字ダブルクリア五 訂版・尚文出版

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を向上させる。 言葉による表現の対象を自己、他者、社会、世界、未来へと視野を広げる。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにし 「思考・判断・表現」 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 「主体的に学習に取り組む態度」 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を持っている。
評価の方法	「知識・技能」 定期考査における基本問題や小テストで評価する。 「思考・判断・表現」 定期考査における発展的な問題や記述問題、授業内での発表や小論文などの内容や成果物で評価する。 「主体的に学習に取り組む態度」 提出物の内容や授業への取り組み状況において評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	「こそめスープ」 ・筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。 ・自身の経験を踏まえ、自らの志向に目を向けて、相手に伝わるように表現する。 「ルリボンカミキリの青」 ・体験について書かれた文章を読み、自分に当てはめて考える。 「気になるニュースについて話そう」 ・情報を整理し、内容や構成に注意して言語化し、他者に伝える。 「未来をつくる想像力」 ・情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。 ・さまざまなメディアの特長を知り、受信者としても送信者としても適切な判断のもと、使い分ける。 「水の東西」 ・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深め、二項対立について理解する。
2 学期	「鍋洗いの日々」 ・自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。 「真夏のひしこ漁」 ・読書を通じて将来の職業や働き方を考える。 「憧れの職業について調べ、整理してまとめよう」 ・調べたことを整理して、考えたことを分かりやすくまとめる。 「発想を広げる方法を使って話し合おう」 ・発想を広げてアイデアを整理し、まとめる。 ・相手意識を持って言葉を選ぶ。 「美しさの発見」 ・「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する。
3 学期	「不思議な拍手」 ・人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み、人間への認識を深める。 ・推論の仕方を理解し、日常で使えるようになる。 「真の自立とは」 ・「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名 (予定)	副教材・出版社名 (予定)
国語	論理国語	2	3年次 普通科	必修	精選論理国語・三省堂	新常用漢字必携パーフェクトクリア改定版・尚文出版

学習目標	示された情報の信頼性や妥当性を見極めながら、他者の主張や考えを的確に理解するとともに、自らの主張や考えを論拠に基づいて効果的に構築できる。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
	「思考・判断・表現」 論理的、批判的に考える力を身に付け、他者との関わりの中で、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができている。
	「主体的に学習に取り組む態度」 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して社会や他者と関わろうとする意識をもつことができている。
評価の方法	「知識・技能」 定期考査における基本問題や、定期的実施する小テストの結果で評価を行う。
	「思考・判断・表現」 定期考査における応用問題や、授業内外でのレポート課題の成果、発表活動の成果によって評価を行う。
	「主体的に学習に取り組む態度」 個人ワークやグループワークへの取り組み具合や、提出物の提出状況によって評価を行う。

学期	学習計画および内容
1 学期	・「夢は何語で見る？」 多言語社会の実現や「可能性」について考える。 ・「情報ネットワーク社会」 情報ネットワーク社会の課題を明らかにする。
	・「母親のための酸素マスク」 いま求められるケアについて考える。 ・「スポーツとナショナリズム」 スポーツとナショナリズムの関係を考察する。
2 学期	・「コンコルドの誤り」 人はなぜ「意志決定」を誤るのか、人間の思考について考える。 ・「擬似群衆の時代」 メディアと「群衆」の新たな関係を考える。
	・リスク社会論 「リスク社会」の分析を通して現代社会の諸問題を考察する。 ・恐怖とは何か 人はなぜ「恐怖」をかんじるのか、「自然」との関わりから理解する。
3 学期	・コンクリートの時代 コンクリート建築から「近代」という時代の特徴を考える。 ・生命との関わり 生命と「相互主体的に関わる」とはどういうことか考える。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名 (予定)	副教材・出版社名 (予定)
国語	古典探究	2	3年次 普通科 プログレッシブ	必修	精選 古典探究 大修館	必修古典文法問題集・文英堂 精説漢文・いいずな書店 精説漢文必修ノート・い いずな書店 古文単語330・いいずな書店

学習目標	<p>・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
評価の 観点・規準	<p>「知識・技能」</p> <p>古典に用いられている語句の意味や用法を理解したり、語彙を豊かにしたりすることで、古典作品への理解を深める。 修辞や訓読のきまりについて、理解を深める。</p>
	<p>「思考・判断・表現」</p> <p>文章の種類を踏まえて、構成や展開、古典特有の表現を理解する。 書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、成立の背景を踏まえながら作品の価値について考察する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深める。 古典作品に親しむことでものの見方、感じ方、考え方を深め、言語文化の担い手としての自覚を持つ。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」</p> <p>小テスト・課題確認テストで評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」</p> <p>定期考査で評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>提出物の内容や授業内での成果物、授業態度で評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>『堤中納言物語』(虫めづる姫君) 現代の社会と結び付けて古典文学の世界を理解する。</p> <p>『風姿花伝』(因果の花) 能、浄瑠璃に関するものの見方や考え方の特徴を理解する。 本文に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解する。</p>
2 学期	<p>『和泉式部日記』(薫る香に) 古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を養う。 古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。</p> <p>『紫式部日記』(和泉式部と清少納言) 前項の『和泉式部日記』から読み取れる人物像と、他者からの目線における評価との間の共通点、相違点を考察する。</p> <p>古典分野における問題演習を通して、問われたこと、解答内容を分析する。</p>
3 学期	<p>古典分野における問題演習を通して、問われたこと、解答内容を分析する。</p>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名 (予定)	副教材・出版社名 (予定)
国語	古典探究	2	3年次 普通科 スタンダード コース	必修	精選 古典探究 大修館	必修古典文法・文英堂 必修古典文法問題集・文英堂 精説漢文・いっずな書店 精説漢文必修ノート・いっずな書店 古文単語330・いっずな書店

学習目標	<p>・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
評価の 観点・規準	<p>「知識・技能」</p> <p>古典に用いられている語句の意味や用法を理解したり、語彙を豊かにしたりすることで、古典作品への理解を深める。 修辞や訓詁のまきまりについて、理解を深める。</p> <p>「思考・判断・表現」</p> <p>文章の種類を踏まえて、構成や展開、古典特有の表現を理解する。 書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、成立の背景を踏まえながら作品の価値について考察する。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深める。 古典作品に親しむことでものの見方、感じ方、考え方を深め、言語文化の担い手としての自覚を持つ。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」</p> <p>小テスト・課題確認テストで評価する。</p> <p>「思考・判断・表現」</p> <p>定期考査で評価する。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>提出物の内容や授業内での成果物、授業態度で評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>『古今著聞集』『源 義家、衣川にて安部貞任と連歌のこと』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代仮名遣いおよび品詞の働き、用言の活用を確認する。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。 <p>『十八史略』『水魚の交はり』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・返り点および置き字の規則を確認し、漢文を書き下し、再読文字や句形を身につける。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。 <p>『枕草子』『二月つごもりごろに』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬語法および副詞の呼応などを確認する。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。 <p>『文選』『行行重行行』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古体詩の詩型や押韻など、基礎的な漢詩の知識を確認する。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。
2 学期	<p>『史記』『項王の最期(一)』『四面皆楚歌す』『我 何の面目ありて之に見えん』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・句形を身につけるとともに、登場人物の主従関係を把握することで内容理解を深める。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。 <p>『大鏡』『鶯宿梅』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙や文法を把握し、現代語訳する力を身につける。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。 <p>『唐宋八家文読本』『師説』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の知識を把握し、現代語訳する力を身につける。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。
3 学期	<p>『堤中納言物語』『虫めづる姫君』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬語法などの文法知識を確認し、近代の短編小説にも通じる着想に親しみ、内容理解を深める。 ・作品情報や当時の時代背景を理解し、自己の価値観と照らし合わせる。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名 (予定)	副教材・出版社名 (予定)
国語	文学国語	3	3年次 普通科 スタンダード	選択	文学国語・東京書籍	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
	「思考・判断・表現」 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
	「主体的に学習に取り組む態度」 言語がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価の方法	「知識・技能」 定期考査における基本問題や、定期的実施する小テストの結果で評価を行う。
	「思考・判断・表現」 定期考査における応用問題や、授業内外でのレポート課題の成果、発表活動の成果によって評価を行う。
	「主体的に学習に取り組む態度」 個人ワークやグループワークへの取り組み具合や、提出物の提出状況によって評価を行う。

学期	学習計画および内容
1 学期	『山月記』 登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。 『窓』 場面や登場人物の設定における特徴を捉え、作中の「短編小説」が象徴するものについて考える。
	『山椒魚』 登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。 『沖縄の手記から』 戦争の中に生きる登場人物の生き方や考え方を捉え、人間の生と死について考えを深める。
2 学期	『ころ』 人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。
	『檸檬』 登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について考える。
3 学期	『舞姫』 構成や時代背景に注意しながら主人公の葛藤を読み取り、人生の選択について考える。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名 (予定)	副教材・出版社名 (予定)
国語	国語表現	3	3年次 普通科 スタンダード	必修	国語表現・大修館	国語表現基礎練習ノート 大修館

学習目標	自分の思いや考えを多彩に表現するために豊かな語彙や表現を身につけるとともに、目的や意図に応じて情報の組み合わせなどを工夫したり、自分の考えの根拠となる情報を明確にしたりすることで、自分の考えを的確に伝えることができる。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
	「思考・判断・表現」 論理的、批判的に考える力を身に付け、他者との関わりの中で、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができる。
	「主体的に学習に取り組む態度」 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して社会や他者と関わろうとする意識をもつことができる。
評価の方法	「知識・技能」 定期考査における基本問題や、定期的実施する小テストによって評価を行う。
	「思考・判断・表現」 定期考査における応用問題や、授業内外でのレポート課題の成果、発表活動の成果によって評価を行う。
	「主体的に学習に取り組む態度」 個人ワークやグループワークへの取り組み具合や、提出物の提出状況によって評価を行う。

学期	学習計画および内容
1 学期	・オリエンテーション ・漢字と語彙の確認 ・目的に応じて、言葉遣いや文体などを工夫して、読みやすく整った文を書く。
	・原稿用紙の使い方 ・小論文入門 ・反論を想定しながら主張を説く小論文
2 学期	・資料やグラフを読み取って書く小論文 ・自己PRと面接
	・本の紹介:これまでの読書歴を振り返り、本紹介を行う。 ・意見発表:設定テーマについて意見を持ち、発表を行う。
3 学期	・課題レポートの作成、発表 ・親しい人に感謝の手紙を送る。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名 (予定)	副教材・出版社名 (予定)
国語	国語探究 Ⅱ	2	2年次普通科 プログレッシブ	選択		

学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする能力を身に付けることを目指す。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。</p> <p>「思考・判断・表現」 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 定期考査における基本問題や小テスト等で評価する。</p> <p>「思考・判断・表現」 定期考査における発展問題や授業内発表の内容や、成果物で評価する。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」 提出物の内容や授業態度等で評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>文学的文章や実用的文章問題を通じて、情報の読み取り方法の確認。</p> <hr/>
2 学期	<p>文学的文章や実用的文章問題を通じて、情報の読み取り方法の確認。</p> <hr/>
3 学期	<p>文学的文章や実用的文章問題を通じて、情報の読み取り方法の確認。</p>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名 (予定)	副教材・出版社名 (予定)
国語	国語の常識	2	3年 情報ビジネス科 システム工学科			○マナ☆スタ国語習得編○マナ☆スタ国語 活用編○ベーシックパワトレ◎国語新課程版

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・進路決定のための国語に関する一般的な知識(漢字・語句等)を習得する。 ・場面や形式に沿った文章表現ができる能力を養う。 ・さまざまな文章を読み取ったり、表現に必要な語彙力、表現の仕方、わかりやすい表現のための知識を身につける。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
	「思考・判断・表現」 相手や目的に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて感受性豊かに読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 目的や場面に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。
	「主体的に学習に取り組む態度」 言語を用いて伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその知識・理解の向上を図ろうとする。
評価の方法	「知識・技能」 定期考査における基本問題や小テストで評価する。
	「思考・判断・表現」 定期考査における発展的な問題や記述問題、授業内で提出された課題作品などの内容や成果物で評価する。
	「主体的に学習に取り組む態度」 提出物の内容や授業への取り組み状況において評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙を中心とした就職試験・推薦入試等の問題演習をする。 ・評論や随想、小説の問題演習をする。 ・要約の仕方やルール、文章の構成について理解する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙を中心とした就職試験・推薦入試等の問題演習をする。 ・評論や随想、小説の問題演習をする。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙を中心とした就職試験・推薦入試等の問題演習をする。 ・評論や随想、小説の問題演習をする。 ・自分が希望する職業に関わる小論文や作文等を作成し、文章力や思考力、表現力を養う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙を中心とした就職試験・推薦入試等の問題演習をする。 ・評論や随想、小説の問題演習をする。 ・自分が希望する職業に関わる小論文や作文等を作成し、文章力や思考力、表現力を養う。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙を中心とした就職試験・推薦入試等の問題演習をする。 ・評論や随想、小説の問題演習をする。 ・社会人として身につけるべき知識や技能を身につける。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	<ul style="list-style-type: none"> ・全員履修であり、定期テスト以外に授業時間ごとに提出された課題等を評価するので、できる限り欠席しないように心掛けること。また、提出期限を厳守すること。
---------------------------	---